

令和元年度第1回地域包括支援センター運営協議会会議録

日時：令和元年8月27日（火） 午後7時54分 ～ 午後8時20分

場所：二宮町役場 第1会議室

出席者：地域包括支援センター運営協議会委員：8名

事務局：健康福祉部長・高齢介護課長・介護保険班長・介護保険班員1名・地域包括ケアシステム推進班長・地域包括支援センター職員2名

1. 議題

- (1) 平成30年度地域包括支援センター事業実績報告及び地域ケア会議について
- (2) 平成30年度認知症初期集中支援事業の実施状況について
- (3) その他

会議の状況

午後 7 時 54 分 開始

会 長 議題が 3 本ございます。まずは、議題（1）平成 30 年度地域包括支援センター事業実績報告及び地域ケア会議について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 （資料 A、B 説明）

会 長 事務局から資料の説明がありましたが、委員の皆様ご意見等ございますでしょうか。

委 員 （相談について）認知症の人はどういう方が対象なのか？医療的診断がおりている人であって、精神疾患の人は含まないのか？

事務局 認知症に限らず、精神疾患の方でも、どなたでも相談を受けている。診断を持たれていない方も相談に来られている。認知症か精神疾患かどうか判断するのは難しいが対応している。どちらであるかはっきり分けられないところがあるのは確かである。

委 員 統計を取るうえで、認知症の根拠を聞かれることがあるので、今後統計を取るときにどうするか考えておいてほしい。

委 員 地域ケア会議についてですが、政策形成機能において、地域ケア会議で抽出された課題は政策に結びついているのか？依然質問した時にはまだ政策に結びついていないということだったが、今はどうなのか？

事務局 政策に結びついているかわからないが、前年度、地域ケア会議を行ったことにより、どういった方にどのような見守りをしたらいいのか伝わりにくいことが分かったため、今年度、高齢者の見守りシートを作り、配布している。内容としては、こういう風な視点で地域の方を見守っていただけると何かに気づけますよというもので、好評となっている。地域ケア会議の積み重ねの中からでてきたものによって生まれたものです。

委 員 課題を抽出して成功した例ということでよろしいか？

事務局 はい。今後も少しずつでも実現していきたいと思っています。

委 員 地域ケア会議について、個別会議に出席させてもらったが、メンバーはその都度声掛けして行っているのか？内容によってメンバーが違うがどのような基準によって選んでいるのか？

事務局 事例に合わせた方、例えば地域の民生委員や事業所など関わり合いがある方を中心に声掛けしている。

委員 9月と2月のケア会議は、医師や薬剤師など参加者が多かったのです。

事務局 9月と2月については、地域ケアの推進会議なので多くの方に声掛けをさせていただいた。

委員 地域ケア会議に一度だけ出席したことがあるが、定期的に出席したいので、連絡を頂けるとありがたい。報告の文字を見ているだけではわからないため、委員として実際に出席して理解したいと思っているので検討してほしい。

事務局 はい。

会長 事務局で調整をとって見てできるだけ実現させてください。続きまして、議題(2)平成30年度認知症初期集中支援事業の実施状況について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局 (資料C、D説明)

委員 相談者の家族は同居か。

事務局 数としては把握していないが、相談をする上で確認はしている。

委員 同居だと話しづらいとか、別居だと相談しやすいとか、傾向を調べてほしい。

事務局 はい。

委員 相談の中にその他とあるがこれはどういう内容なのか。

事務局 通いの場、講座やにのんカフェなど包括支援センターの職員が出向いたときの相談となる。

会長 手紙での相談はないのか。

事務局 メールでの相談はあるが、手紙での相談はない。

委 員 認知症初期集中支援チームの対応案件 3 件は自治体の規模からして多い方なのか。

事務局 相談件数は、すでに医療機関につながっている人や介護の認定を持たれている人も含んでおり、対応件数は、医療機関などどこにも繋がっていない方となっている。

委 員 中断している人も対象となっていると思ったが。

事務局 中断している人も対象だが、こういった方を対象とするかは、サポート医を中心に相談して基準を作った。実績としては市のレベルで 10 件であり、大磯町でも 1 件となっている。チームとしてかかわっているのは 3 件だが、それ以外でも日常的に包括支援センターなどの関係機関で認知症の相談をたくさん行っているのが現実です。

委 員 3 件は先生が直接行って診断をしているのか？

事務局 往診するケースもあるかもしれないが、まずは、サポート医を中心に会議を開き、どう風に診断を受けたらいいか、かかりつけ医をどこにするかを相談する。

委 員 アウトリーチではないが、サポート医が診断するわけではないのか？

事務局 サポート医はあくまで助言のみとなっている。

委 員 診療をしてしまうと医療になってしまう。

事務局 その通りで、他の市の事例ではサポート医が往診して医療をすることがあり、認知症や精神科の先生が行うことがある。二宮町の場合は、かかりつけ医を作って、それができなければ大きな病院に行ってもらうことにしている。

会 長 続きまして、議題 (3) その他について何かありますでしょうか。

事務局 事務局からは特にありません。

会 長 それでは、これで令和元年度第 1 回地域包括支援センター運営協議会を終了いたします。

午後 8 時 20 分閉会